

参考資料

平成31年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
会 計 管 理 者

新規事業及び重要事業総括表

I 総額

【一般会計】

区分	平成31年度	平成30年度	伸び率
予算総額	1,021,920千円	969,213千円	5.4%
一般会計構成比	0.1%	0.1%	—

【証紙特別会計】

予算総額	17,691,154千円	18,906,686千円	△6.4%
------	--------------	--------------	-------

II 主な新規事業及び重要施策

(単位 千円)

1 県庁の更なるスマート化

(1) 県民サービスの向上

P 1 新規 公金収納のキャッシュレス化の推進【出納総務課】 566

(2) 県庁の業務効率化

P 2 新規 庁内向け財務相談業務へのAIの活用【出納総務課】 3,273

公金収納のキャッシュレス化の推進

担当 出納総務課 財務会計制度担当
内線 5730

1 目的

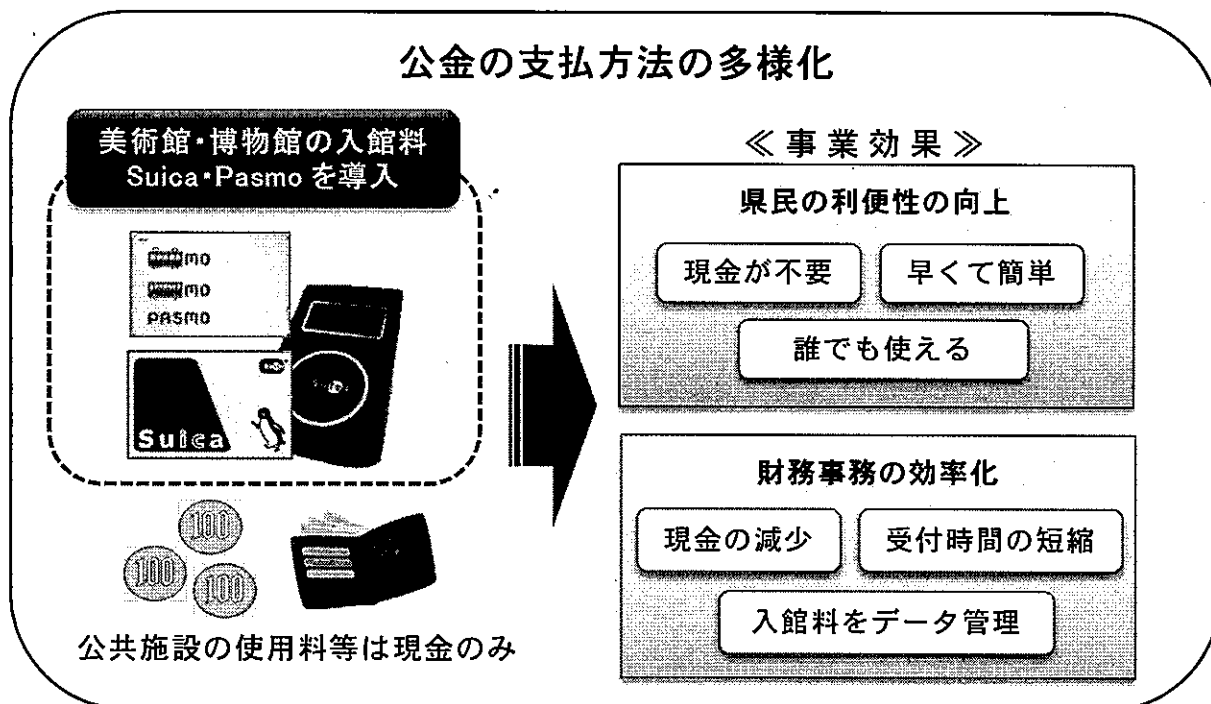
本県の公金収納のキャッシュレス化を進め、県民の利便性の向上及び財務事務の効率化を図る。

2 事業内容

公金収納キャッシュレス化推進事業

県民が多く利用する美術館や博物館等の入場料に、社会的認知度が高く広く普及しているICカード（Suica、Pasmo）による支払いを導入する。

3 予算額 566千円



庁内向け財務相談業務へのA I の活用

担当 出納総務課 財務会計制度担当
内線 5 7 6 0

1 目 的

庁内向けの財務相談業務にA I（人工知能）を活用することで、業務の効率化を図る。

2 事業内容

財務相談業務A I 活用事業

既存のF A Q（よくある質問と回答）自動応答システムを利用し、庁内職員からの財務相談について、A Iによる自動応答を行う。

3 予算額 3, 2 7 3 千円

<導入後のイメージ>

